２学年　　家庭科ガイダンスシラバス　教科担当　水村　英美子

１．　家庭科を学ぶねらい

① 生活の自立に必要な衣食住・消費生活に関する基礎的な知識と技能を習得すること。
② 実践的、体験的な学習活動を通して、生きる力を身につけ今後の生活に生かすことができるようになること。

２．学習方法

授業を受ける準備を休み時間に行い、集中して授業を受けられる環境を作りましょう。

① 座学のとき
教科書・ワーク・プリントを中心に基礎的基本的な知識を身につけます。
・授業中は、先生の話や周りの人の発言をしっかり聞き、自分の学びに生かすこと。
・発言する場合は、手を挙げて発言すること。
・プリントやワークは、記入もれのないよう埋め、その他メモしたいことがあれば積極的にプリントへメモをすること。

② 実習のとき
製作の作業を確認して進めていきます。作業後にはその日の振り返りを行います。
・製作の際には安全に気をつけて作業を進めること。
・準備は授業が始まる前までに行い、片づけは周りをみて丁寧に行うこと。

３．持ち物、忘れものなどについて

・教科書、ワーク、ファイルの３点セットが基本です。
・作品製作をする時には、裁縫道具等を使用します。
・調理実習をする時には、エプロン・三角巾・ハンドタオル・マスクを使用します。
・すべての持ち物に関して、紛失防止のため貸し借りは禁止。
★忘れ物をしないように気をつけましょう。
万が一忘れ物をしてしまった場合は、必ず教科担任に報告に来てください。

４．　学習の評価内容と評価方法

① 第一観点：「知識・技能」
（定期考査・小テスト・作業手順の正しさ・用具や機械の使い方や片付け方・作品の完成度・実技テスト）
② 第二観点：「思考・判断・表現」
（課題レポート・作品の工夫・プリント・振り返りの記入内容・定期考査）
③ 第三観点：「主体的に学習に取り組む態度」
（ワーク・プリント・課題プリントやレポート）

５．先生からのアドバイス

・授業中は、積極的に発言し、意欲を出して取り組みましょう。
・課題は、期限を守って提出しましょう。
・実習中は安全に配慮して、意欲的に取り組みましょう。
・あきらめずに最後まで作品を完成させましょう。

６．家庭科　年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4 ～ 7	〔衣食住の生活〕 １食事の役割と食習慣 ２中学生に必要な栄養を満たす食事	・食事の役割を理解し、毎日の食生活に関心をもつ ・健康によい食習慣について知る規則正しく食事をとることの重要性がわかる ・中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる ・食品は、栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。 ・バランスの良い１回の食事の見分け方を身につける ・バランスのよい１回分の食事を立てることができる	・授業観察 ・定期考査 ・実技テスト ・ハンドノート、プリント、課題の記入や提出 ・発言や意見
2	9 ～ 12	３さまざまな食品とその選択 〔生活を豊かにするものの製作〕 ４日常食の調理	・生鮮食品の特徴を理解し、目的に応じた選択・保存ができるようになる ・ウォールポケット製作 ・加工食品の特徴を理解し、目的に応じて加工食品を選択できる ・食品の安全や情報に関心を持って判断・選択できる ・調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる ・おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し、実践できる	・授業観察 ・ワーク点検 ・作品評価 ・実技テスト ・定期考査 ・ハンドノート、プリント、課題の記入や提出 ・発言や意見
3	1 ～ 3	４日常食の調理 ５地域の食文化 ６持続可能な食生活を目指して まとめ	・肉・魚・野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉・魚・野菜を調理することができる ・地域の食材と郷土料理について知り、和食の調理を理解する ・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる 1 年間のまとめ	・授業観察 ・ワーク点検 ・定期考査 ・レポート評価 ・ハンドノート、プリント、課題の記入や提出 ・発言や意見